

北海道の気候は 10年でどうなった 2016～2026年

「ベルリン」から「パリ」へ、
猛暑日は「バルセロナ」へ

[気象庁長期データ準拠](#)

[札幌管区気象台2025](#)

[医療従事者向け情報](#)

3段階で見る「北海道の夏」の変化

気候の変化を直感的に理解するには、世界の都市と比べるのが最もわかりやすい方法です。北海道の夏はこの10～15年で3段階に変化しました。

DE ドイツ・ベルリン

10～15年前の北海道のイメージ

年平均 約9～10℃

年平均気温9～10℃、夏（8月）の最高気温23～25℃前後。かつての北海道（平年値1981～2010：年平均8.9℃）の「冷涼な大陸性気候」とほぼ一致。熱帯夜（夜間25℃超）はほとんどなく、夜も涼しい爽やかな夏が続いていた。

気象庁平年値 1981～2010

FR フランス・パリ近郊

現在（平年～やや暑い年）の北海道

夏の平均最高気温 約25℃

近年の北海道の夏は平年値そのものが上昇。2024年夏は平年比+2.2℃（全国2位の高温）。8月の平均最高気温がパリ周辺（約25℃）に接近しており、「快適な夏」から「油断できない夏」へと変貌しつつある。

札幌管区気象台「北海道の気候変動と近年の天候」2025年5月

ES スペイン・バルセロナ

猛暑年・猛暑日の北海道

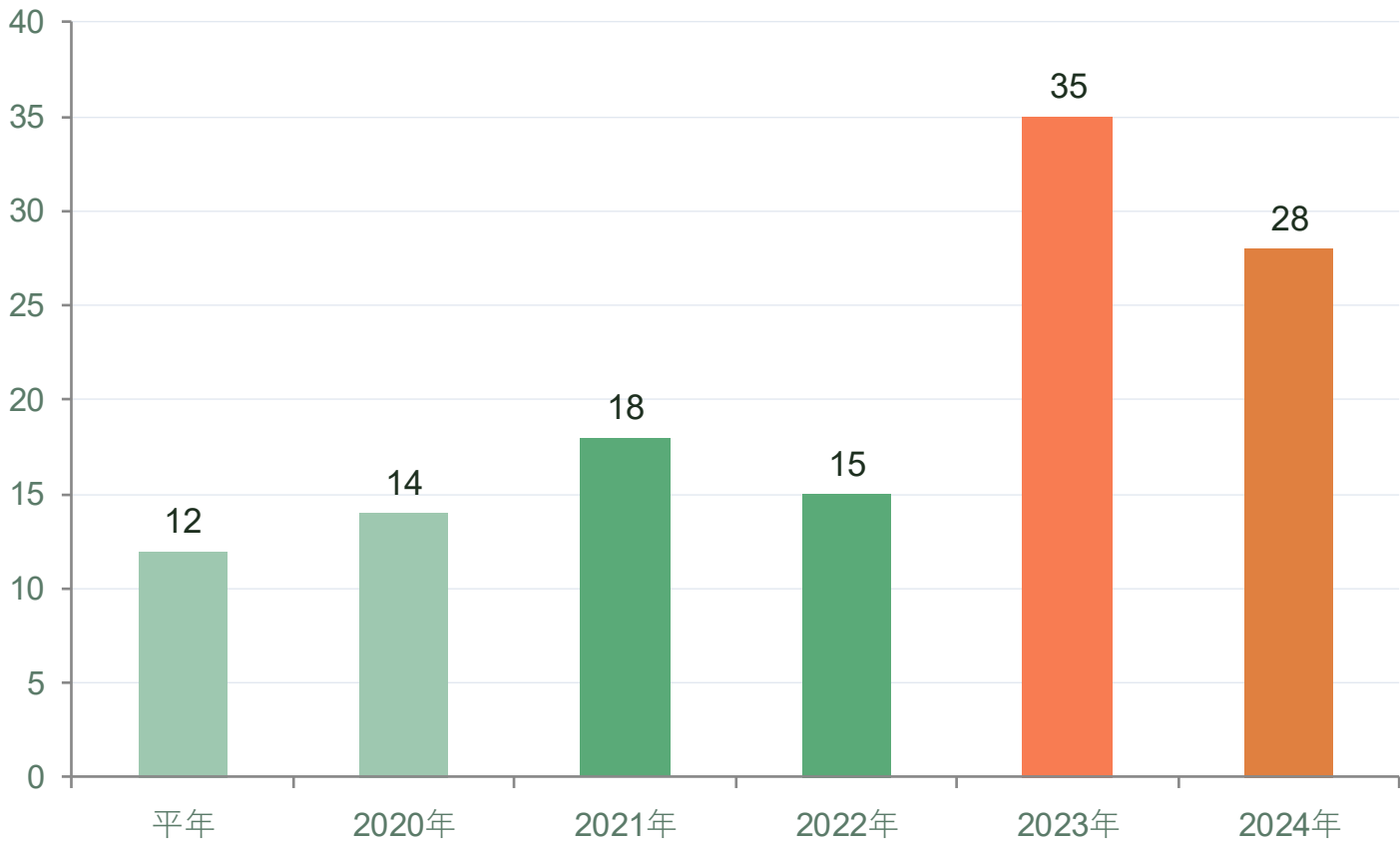
35℃超の猛暑日が現実に

2023年夏は北海道全体の平均気温が平年比+3.0℃（統計開始以来1位）。札幌で8月23日に36.1℃を記録。2024年の長沼（夕張郡）では36.3℃（道内観測史上1位更新）。バルセロナの8月平均最高気温と同水準の真夏が現実となった。

気象庁「観測史上1位の値 更新状況」2024年8月12日

数字で見る「北海道の夏革命」

札幌 真夏日（最高気温30℃以上）日数（日）



+1.46℃

/100年

北海道夏季平均気温の
長期変化率
(1898~2024年)

12日

2023年・札幌の熱帯夜
(夜間25℃以上) 日数
かつてはほぼゼロだった

36.3℃

2024年 長沼(夕張郡)
道内観測史上最高気温
前記録は2023年の35.2℃

道内でも「二極化」——釧路 vs 帯広・旭川

釧路——「最後の涼しさ」が残る地

夏の平均最高気温：約20℃前後

冷たい親潮（寒流）の影響を受け、北海道内で数少ない「かつての北海道らしさ」を保つ地域。

比較：アイスランド・レイキャビク（夏の最高気温13～17℃）よりは温暖だが、爽やかさは今も健在。

観光客が「北海道の夏は涼しい」と感じるのは、釧路・道東のイメージが基準になっているから。内陸は全く別の話。

帯広・旭川——「内陸の猛暑」

2023年：真夏日30日以上を記録

海から遠い内陸は気温上昇が顕著で、2023年の帯広・旭川では真夏日日数が平年の2～3倍に達した。

比較：スペイン・マドリードの8月（平均最高気温32～34℃）に近い酷暑が現実。

エアコン普及率の低さ・暑熱順化不足の2重リスクと組み合わせさり、熱中症搬送者急増の主要因となっている。

①

札幌管区气象台「北海道の気候変動と近年の天候」令和7（2025）年5月30日（北海道庁資料1-4）

夏季平均気温の長期変化率+1.46℃/100年（1898～2024年）・2023年夏1位、2024年夏2位の高温

②

日本気象協会 tenki.jp「北海道 昨夏に続き熱中症警戒 暑い夏に」気象予報士 持田浩 2024年2月20日

2023年夏の平年比+3.0℃（統計1位）・真夏日日数（平年の2～3倍）・札幌の熱帯夜12日

③

気象庁「観測史上1位の値 更新状況（2024年8月12日）」

長沼（夕張郡）36.3℃で道内観測史上1位を更新（前記録：2023年35.2℃）

④

気象庁「過去の気象データ検索」

札幌の年平均気温8.9℃（1981～2010平年値）・真夏日日数等

⑤

気象庁「北海道地方夏の平均気温平年差推移（1946～2024年）」

2023年夏：平均偏差+3.0℃（1位）、2024年夏：+2.2℃（2位）